

CT検診

The Journal of the Japanese Society of CT Screening

C

VOL.17
NO.1
2010

第17回日本CT検診学会
学術集会抄録集

T



日本CT検診学会

S

第17回 日本CT検診学会学術集会

－ CT 検診の未来 －

会 期 ● 2010年2月12日金・13日土

会 場 ● 長崎ブリックホール 〒 852-8104 長崎県長崎市茂里町2-38
TEL : 095-842-2002 (代表) FAX : 095-842-2330

会 長 ● 芦澤 和人 長崎大学病院 がん診療センター長

■ 特別講演・ランチョンセミナー

「石綿ばく露による肺がん、中皮腫の診断 ― 石綿健康被害救済法について ―」

■ 教育講演

「CT 検診でみつけれられる肺癌 ― 進行の早い肺癌から緩徐な肺癌まで ―」

■ シンポジウム

「長崎における肺がん検診の現状」

「CT 検診における COPD の認識と評価」

「CT 検診で発見された肺結節のマネジメント」

■ 特別報告

「肺癌 CT 検診における世界の現状と日本の方向性

― 日本の肺癌 CT 検診に世界は何を期待しているのか ―」

「日本人間ドック学会会員施設における

胸部 CT 検診に関する実態調査報告 ― 平成20年11月実施 ―」

■ 一般演題

□ 機器展示、CT 検診車展示

第17回日本 CT 検診学会学術集会 事務局

長崎大学病院がん診療センター(松本)

〒 852-8501 長崎市坂本1-7-1

TEL : 095-819-7779 FAX : 095-819-7776

E-mail : matumoko@nagasaki-u.ac.jp

第17回日本 CT 検診学会学術集会ホームページ <http://www.jscts.org>

第17回日本CT検診学会学術集会の開催にあたって



第17回日本CT検診学会学術集会

会 長 芦澤 和人

長崎大学病院 がん診療センター長

本学会は、平成18年1月に胸部CT検診研究会からNPO法人日本CT検診学会と改名され、今回で5回目の学術集会となりました。九州での開催は、研究会時代を含めて初めてであり、この地で主催させて頂くことを大変光栄に思っております。

本大会のテーマは、「CT検診の未来」と致しました。肺がん検診におけるCT検診の有効性評価のために、欧米では無作為化比較試験が進行中ではありますが、その結果が本年以降に判明する予定です。対策型検診としてはネガティブな結果が予想されており、今後のCT検診の位置づけ、未来について十分に議論すべき時期に来ていると考えられます。また、日本におけるCT検診の現状として、低線量で撮像されていない施設が数多くあることも明らかとなってきました。これらの話題に関して、関先生、瀧澤先生のお二人に特別報告をお願いしました。

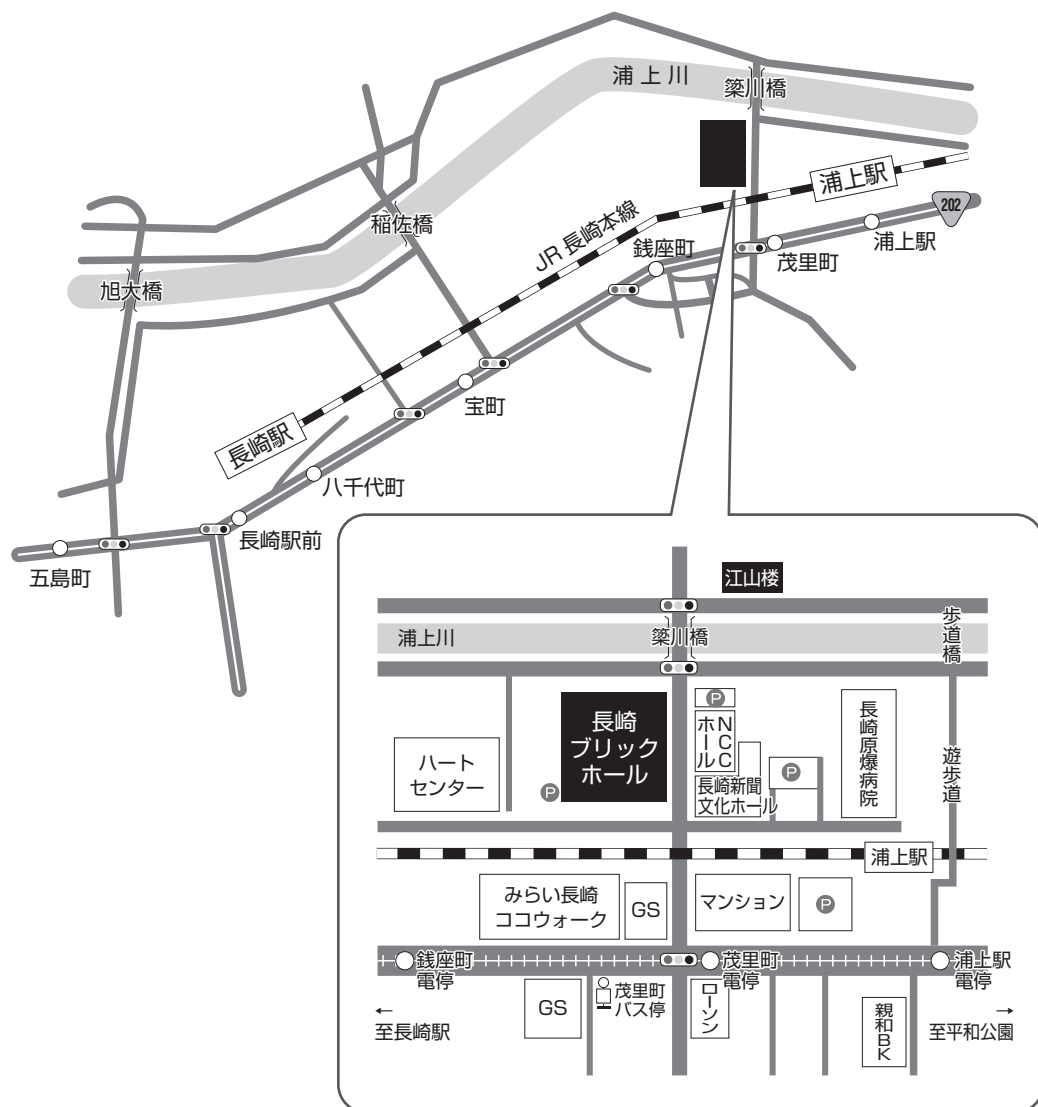
肺がんに関するシンポジウムとして、「長崎における肺がん検診の現状」と、「CT検診で発見された肺結節のマネジメント」を取り上げました。長崎での、胸部単純X線撮像および低線量CTによる肺がん検診の現状をご報告しますので、ご批判、ご助言を頂ければ幸いです。また、継続的な話題である肺結節のマネジメントに関しては、本学会ガイドラインの妥当性を中心に活発な議論となるものと予想しています。また、肺がんのCT所見に関する教育講演を、楠本先生にお願いしました。豊富な症例を提示頂けるものと思いますので、読影のポイントなどを習得頂ければ幸いです。

肺がん以外のCT検診として、社会的に注目を集めるアスベストや肺気腫、さらにはメタボリックシンドロームなどが挙げられます。本大会でも、アスベストばく露による肺がん、中皮腫の診断に関する特別講演を岸本先生にお願いしました。アスベスト健康被害救済法などを中心に貴重な講演を拝聴できるものと思います。また、肺気腫における専門の先生方をお招きして、シンポジウムを予定しております。また、今回ご応募いただいた演題には、コンピュータ支援診断に関するものも多く、CT検診における研究が広く行われているものと推測されます。

本大会では、(株)フリールの平井先生のご配慮により、久しぶりに「CT検診車」の展示を2日間にわたり行います。タイトな学会スケジュールではありますが、時間をみつけてぜひ展示場へ足を運んでください。また、学会に引き続き、NPO法人肺がんCT検診認定機構との共催で、肺がんCT検診認定医師講習会を開催致します。医師以外の方の参加も大歓迎ですので、奮ってご参加ください。

本大会が皆様方にとりまして有意義な会になりますことを願っております。よろしくご支援・ご協力のほどお願い申し上げます。

交通のご案内



■ アクセス

JR 浦上駅から → 徒歩約 5 分

JR 長崎駅方面から → 路面電車：「赤迫」または「浦上車庫」行き
茂里町（もりまち）電停下車徒歩約 3 分

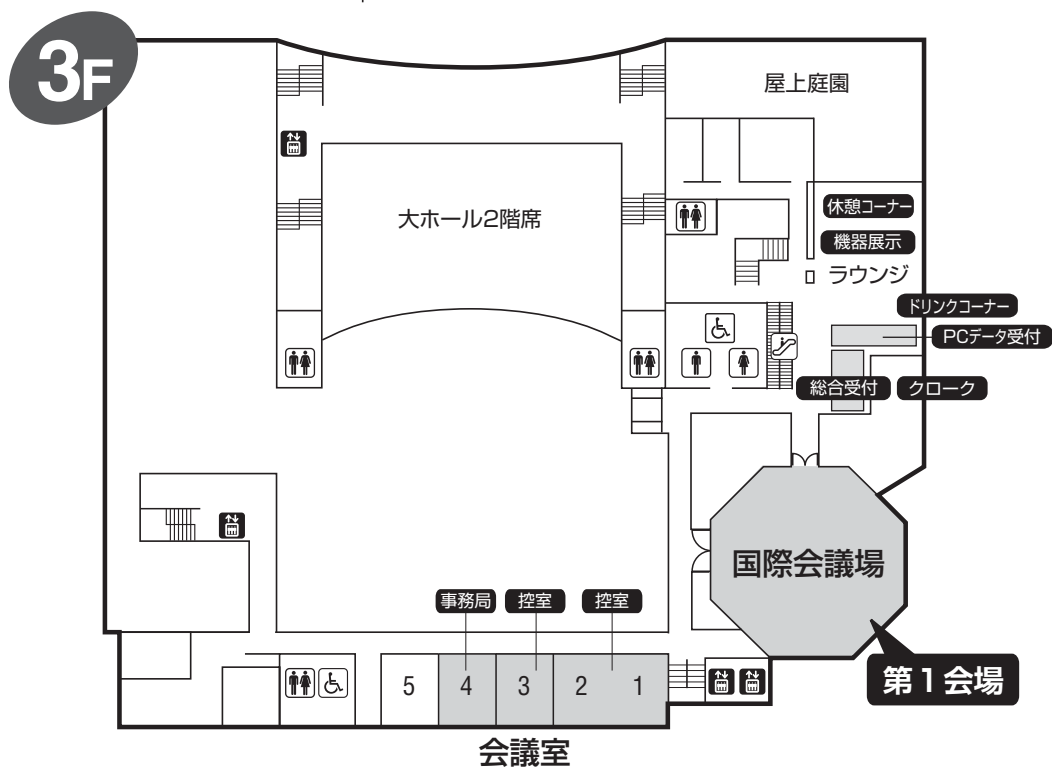
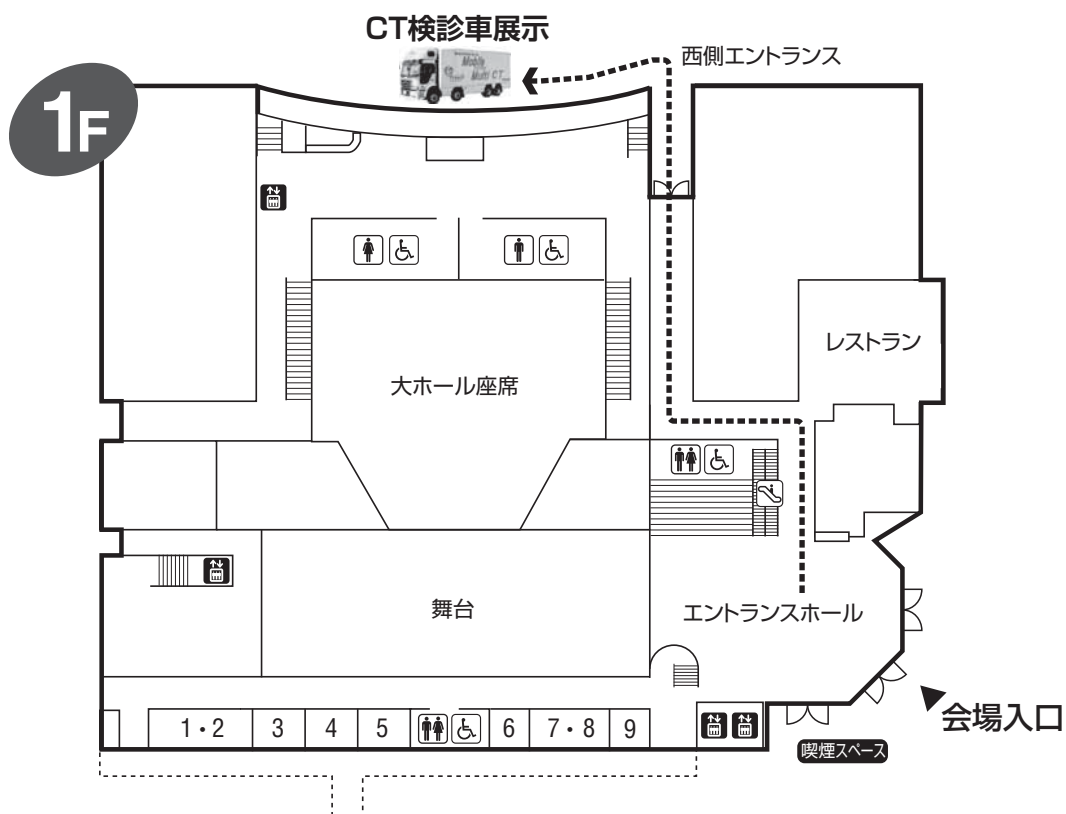
長崎空港から → 長崎空港リムジンバス（長崎市内までの所要時間は40分から 1 時間程）
4 番のりば（浦上経由）：浦上駅前下車 徒歩約 5 分
5 番のりば（出島道路経由）：終点ココウォーク茂里町下車 徒歩約 3 分

※マイカーをご利用の方へ

隣接の市営駐車場、あるいは、その他周辺の駐車場をご利用ください。

駐車場の台数が限られており、有料ですので、なるべく公共交通機関をご利用ください。

会場案内図



参加者へのご案内

1. 総合受付（長崎ブリックホール3F）

(1) 参加受付

受付にて参加費をお支払いの上、参加証をお受け取りください。参加証は領収書兼用となっております。参加証には所属・氏名をご記入の上、会場内では必ずご着用ください。

受付時間：2月12日（金）8：15～18：00

2月13日（土）8：15～15：00

参加費：6,000円

学生（大学院生除く）無料

※ 学生の方は学生証をご提示ください。学生証をお持ちでない場合には当日参加登録費（6,000円）とさせていただきますのでご了承ください。

懇親会参加費：4,000円 ※ 2月12日（金）18時30分～20時30分 会場：江山楼

※懇親会受付は午前中までにお済ませください。

本学術集会は、呼吸器学会専門医更新単位の2単位ならびに放射線科専門医更新単位の3単位となります。

(2) 年会費納入、新入会受付

日本CT検診学会デスクにて年会費納入、新入会受付、会員の住所変更手続きを行います。

(3) 抄録集販売

日本CT検診学会会員には抄録集が1部ずつ配布されておりますので、各自ご持参ください。

当日、購入ご希望の方には抄録集を日本CT検診学会デスクにて1部2,000円で販売いたします。

2. クローク

3F 国際会議場前に設置いたします。貴重品はお預かりできませんのでご了承ください。

3. 機器展示 / ドリンクコーナー / 休憩コーナー

3F ラウンジに設置いたします。

※ CT 検診車のみ、1F 屋外にて展示いたします。展示場所は会場案内図にてご確認ください。

4. 座長へのご案内

座長は担当セッションの10分前までに各会場にてご準備ください。また、定められた時間内で発表が円滑に進むようご配慮ください。

【発表時間】

- ・特別講演、教育講演、シンポジウム、特別報告：事前にご案内のとおりとなります。
- ・一般演題（口演）：発表7分、質疑応答3分

5. 口演発表について

(1) すべての演題は、PC プレゼンテーション（一面投影）のみの発表となります。

(2) 発表データは、CD-R、USB メモリー（ともに Windows 限定）でお持込ください。それ以外のメディアでは受付できませんのでご注意ください。

- (3) 動画・音声がある場合、Macintosh をご利用の場合は、必ずご自身の PC をお持込ください。
- (4) 発表データ登録は、発表セッション開始30分前までに3F ラウンジの PC データ受付にて済ませてください。また、発表の10分前までに次演者席にご着席ください。
- (5) プログラムの円滑な進行のため、座長の指示にしたがい時間厳守をお願いいたします。また計時回線にて発表開始後の時間経過をランプでお知らせいたします。発表中：緑ランプ、発表終了1分前：黄ランプ、終了：赤ランプとなりますのでご注意ください。
- (6) 演台上にモニター、マウスを設置いたしますので、発表の際は発表者ご自身により操作をお願いします。
- (7) 個人情報 that 特定される発表は禁止します。

■ PC を持ち込まれる方へ

- (1) OS は Windows (Windows2000 以降) または、Macintosh (Mac OS 9.2 以降) に対応します。使用するプレゼンテーションソフトは PowerPoint のみとします。
- (2) 3F ラウンジの PC データ受付にて、ケーブルの接続の確認をしてください。受付では、D-sub15 ピン (ミニ) のケーブルを用意します。一部の PC では、本体付属のコネクターが必要となりますので、必ず持参してください。
- (3) 事前に、各自の PC (自宅・学校) 外部からモニターに正しく出力できることを確認してください。個々の PC や OS により設定方法が異なります。
- (4) 画面の解像度は XGA (1024 × 768、60Hz) です。これより大きい場合にはスライドの周囲が切れたり、映らない場合がありますので、このサイズ以外の解像度の使用はお控えください。
- (5) 動画は使用可能ですが、本体の画面に動画が表示されても、プロジェクターには表示されない場合があります。実際にお持ちいただく PC の外部出力にモニターまたはプロジェクターを接続してご確認ください。また、動画がある旨を、PC データ受付にて必ずお申し出ください。
- (6) スクリーンセーバーと省電力設定は事前に解除しておいてください。
- (7) 会場にて電源コンセントを用意していますので、PC 用 AC アダプター等電源コードを必ずお持ちください。
- (8) 念のためバックアップデータとして CD-R もしくは USB データを必ずお持ちください。データ形式等については、以下の「データを持ち込まれる方へ」をご参照ください。
- (9) 発表後は会場内 PC デスク (発表演台付近にオペレータがおります) にて、PC を返却いたします。

■ データを持ち込まれる方へ

- (1) 事務局で用意する PC の OS は WindowsXP です。
- (2) プレゼンテーションソフトは Microsoft Power Point 2000、2003、2007 を用意します。フォントは OS 標準のもののみです。これ以外のフォントを使用した場合は、文字や段落のズレ、文字化け、表示されないなどのトラブルが発生する場合があります。
- (3) お持ちいただくメディアは CD-R もしくは USB メモリーに限ります。

(4) 発表データを CD-R にコピーする際には、ファイナライズ(セッションのクローズ・使用した CD のセッションを閉じる)作業を必ず行ってください。この作業が行われなかった場合、データを作成した PC 以外ではデータを開くことが出来なくなります。また、パケットライト方式の CD-R は使用できません。

(5) 持ち込まれるデータには、当日発表のデータ(完成版)以外は入れないでください。

(6) 発表データファイル名は下記例に従って表記してください。データは終了後、事務局にて責任をもって消去いたします。

例) 13_SY1-2_長崎太郎 (発表日_発表番号_氏名)

(7) 必ず事前にご自身でウイルスチェックをしてください。

7. 会議等のご案内

2月12日(金)

認定制度委員会	11:00～12:00	3F 会議室3
理事会	12:00～13:00	3F 会議室1・2
技術部会	13:00～14:00	3F 会議室1・2
肺癌診断基準部会	13:00～14:00	3F 会議室3

2月13日(土)

学術企画委員会	9:00～10:00	3F 会議室3
総 会	11:30～12:00	国際会議室(講演会場)

8. 事務局

第17回日本 CT 検診学会学術集会 事務局

長崎大学病院がん診療センター(松本)

〒852-8501 長崎市坂本1-7-1

TEL: 095-819-7779 FAX: 095-819-7776

E-mail: matumoko@nagasaki-u.ac.jp

9. お問い合わせ

第17回日本 CT 検診学会学術集会運営事務局(株式会社コンベンションリンケージ内)

〒812-0016 福岡県福岡市博多区博多駅南1-3-6 第三博多偕成ビル

TEL: 092-437-4188(担当: 中松) FAX: 092-437-4182

E-mail: jscts17@c-linkage.co.jp

第17回日本 CT 検診学会学術集会ホームページ: <http://www.jscts.org/>

学会主催セミナーのお知らせ

日本CT検診学会 夏期セミナー

日 時 ● 2010年7月31日(土)

時 間 ● 10:00～19:00(予定)

会 場 ● 星陵会館(東京都千代田区永田町)

アクセス: 有楽町線・半蔵門線・南北線 永田町駅下車 6番出口 徒歩3分
千代田線 国会議事堂前駅下車 5番出口 徒歩5分

※セミナー参加により日本呼吸器学会専門医資格更新に係る研修単位(2単位)を取得できます。

1. 読影セミナー:

テーマ「精度の高い肺がん CT 検診をめざして」

－見落とさない、でも、引っかけすぎない CT 読影のコツ

低線量 CT 肺がん検診の読影精度の向上をめざすために不可欠な、肺結節を見落とさない読影法や肺がんとは異なる結節様構造の読影のコツを易しく解説していただきます。

2. 肺気腫セミナー:

テーマ「肺気腫亜分類を再考する」

－形態と機能の理解のために－

肺気腫の形態診断では、気腫病変と小葉などの肺既存構造との関連付けが重要であるため、肺気腫亜分類を再考し、CT 画像から呼吸機能を考える場合の基礎となり得るかを検討いただきます。

3. 技術セミナー:

テーマ「胸部CT検診画像の精度管理」

－低線量 CT 画像の描出能とその画質評価－

肺がん CT 検診における低線量 CT 画像が通常臨床で撮影されている画像とどのように違うかを明らかにし、検診 CT に適した画像について検討していただきます。

各セミナー世話人

1. 読影セミナー:

石川県立中央病院 放射線診断科 小林 健

〒920-8530 石川県金沢市鞍月東2-1

電話: 076-237-8211 Fax: 076-238-2337 E-mail: kobaken@ipch.jp

2. 肺気腫セミナー:

香川県立保健医療大学 看護学科 佐藤 功

〒761-0123 高松市牟礼町原281-1

電話: 087-870-1215 Fax: 087-870-1202 E-mail: satoh@chs.pref.kagawa.jp

3. 技術セミナー:

大阪物療専門学校 放射線学科 山口 功

〒593-8328 大阪府堺市西区鳳北町3-33

電話: 072-264-8663 Fax: 072-264-8728 E-mail: yamaguchi@butsuryo.ac.jp

次回学術集会のお知らせ

第18回 日本CT検診学会学術集会

会 長 ● 西井 研治 岡山県健康づくり財団附属病院

日 時 ● 2011年2月18日(金)・19日(土)

会 場 ● 岡山コンベンションセンター

〒700-0024 岡山市北区駅元町14-1

TEL : 086-214-1000 FAX : 086-214-3600

大会事務局 岡山県健康づくり財団附属病院

〒700-0952 岡山市北区平田408-1

TEL : 086-241-0880 FAX : 086-241-9365

E-mail : fuzokuhp@okakenko.jp

本部事務局 特定非営利活動法人日本CT検診学会

〒105-0004 港区新橋2-16-1 ニュー新橋ビル339

TEL : 03-3539-4305 FAX : 03-3539-4305

E-mail : office@jscts.org

主 催 : 特定非営利活動法人 日本CT検診学会

タバコフリー推進宣言

本学会は2007年の第14回日本CT検診学会 学術集会の総会でタバコフリー推進宣言を行いました。タバコは多くの予防可能な疾病の原因であり、タバコ対策を講じることは検診に従事するわれわれにとって極めて重要です。今後、本学会は、あらゆる場面において、宣言に即した活動に邁進してまいります。

— タバコフリー推進宣言 —

検診の意義は、疾病の早期発見のみならず、人々の生命と健康を守り、健康増進を推進することです。CT 検診の主な目的は、肺癌などの悪性腫瘍、慢性閉塞性肺疾患、循環器疾患などの早期発見ですが、検診を通じて生活習慣の改善を促し、その発症リスク自体を下げることであります。これらの疾病の発症リスクは喫煙により著しく高まるため、タバコフリー（タバコのない生活や社会）の推進は私たちの重大な使命です。そこで、私たちは自らが行動し、CT 検診受診者はもちろん自らやその周囲・社会全体のタバコフリーを推進することをここに宣言します。

1. 私たちは、自らがタバコを吸わないことで、タバコの危険性を社会に訴えていきます。
2. 私たちは、受診者はもちろん、すべての喫煙者の禁煙を全力で支援します。
3. 私たちは、所属する施設を完全に禁煙にします。
4. 私たちは、主催する会をすべて禁煙にします。
5. 私たちは、タバコフリーを進める啓発活動や社会活動に積極的に参加します。
6. 私たちは、タバコと疾病に関する研究や禁煙の効果を検証する研究を積極的に行います。

※タバコフリーとは、タバコのない生活や社会を意味します。

日 程 表

1日目 2010年 2月12日(金)

第1会場 3F 国際会議室

8:50	8:50~9:00	開 会 挨 拶
9:00	9:00~10:30	シンポジウム1 〔長崎における肺がん検診の現状〕 座長：中山 富雄（大阪府立成人病センター） 早田 宏（佐世保市立総合病院）
10:00	10:50~11:20	一般演題1 〔肺がん検診1〕 座長：佐川 元保（金沢医科大学）
11:00	11:20~12:00	一般演題2 〔肺がん検診2〕 座長：大松 広伸（国立がんセンター東病院）
12:00		
13:00	13:10~14:00	一般演題3 〔肺がん以外のCT検診〕 座長：草野 涼（日立健康管理センタ）
14:00	14:00~14:30	一般演題4 〔肺がんCT検診1〕 座長：花井 耕造（国立がんセンター東病院）
15:00	14:30~15:10	特別報告 座長：上谷 雅孝（長崎大学大学院医歯薬学総合研究科）
16:00	15:30~16:20	教育講演 〔CT検診でみつけれられる肺癌 ―進行の早い肺癌から緩徐な肺癌まで―〕 座長：芦澤 和人（長崎大学病院） 演者：楠本 昌彦（国立がんセンター中央病院）
17:00	16:20~18:00	シンポジウム2 〔CT検診におけるCOPDの認識と評価〕 座長：佐藤 功（香川県立保健医療大学） 福島喜代康（日本赤十字社長崎原爆諫早病院）
18:00	18:30~20:30	懇 親 会 会場：江山楼

2日目 2010年 2月13日(土)

第1会場 3F 国際会議室

8:50	8:50~9:40	一般演題5 〔CADとCT検診1〕 座長：和田 真一（新潟大学医学部保健学科）
9:00	9:40~10:40	一般演題6 〔CADとCT検診2〕 座長：小林 健（石川県立中央病院）
10:00	10:40~11:30	一般演題7 〔肺がんCT検診2〕 座長：柿沼龍太郎（国立がんセンターがん予防・検診研究センター）
11:00	11:30~12:00	総 会
12:00		
13:00	12:15~13:15	特別講演・ランチョンセミナー 〔石綿ばく露による肺がん、中皮腫の診断 ―石綿健康被害救済法について―〕 座長：金子 昌弘（国立がんセンター中央病院） 演者：岸本 卓巳（岡山労災病院）
14:00	13:15~14:45	シンポジウム3 〔CT検診で発見された 肺結節のマネジメント〕 座長：江口 研二（帝京大学医学部） 西井 研治（岡山県健康づくり財団附属病院）
15:00	14:45~14:50	閉会挨拶
16:00	15:00~16:30	講習会 〔肺がん CT 検診認定医師講習会〕 座長：長尾 啓一（千葉大学総合安全衛生管理機構）

1 肺癌CT検診における世界の現状と日本の方向性
―日本の肺癌CT検診に世界は何を期待しているのか―
演者：関 順彦（帝京大学病院 腫瘍内科）

2 日本人間ドック学会会員施設における胸部CT検診に
関する実態調査報告 ―平成20年11月実施―
演者：瀧澤 弘隆（財柏戸記念財団 ポートスクエア柏戸クリニック）

プログラム

2010年2月12日(金)

開会挨拶 8:50～9:00

シンポジウム1 9:00～10:30

[長崎における肺がん検診の現状]

座長：中山 富雄(大阪府立成人病センター)

早田 宏(佐世保市立総合病院)

SY1-1 胸部 X 線写真での肺がん検診の評価

佐世保市立総合病院 呼吸器科 早田 宏

SY1-2 当院における肺癌 CT 検診の現状と問題点

健康保険 諫早総合病院 放射線科 福島 文

SY1-3 当院における胸部 CT 検診導入8年間の検討

長崎市立市民病院 放射線科 南 和徳

SY1-4 当院における肺がん CT 検診 — 8年間の成績結果・問題点等について —

日本赤十字社 長崎原爆諫早病院 放射線科 吉田伸太郎

SY1-5 がん対策の中の肺がん検診 ～行政の立場から～

長崎県福祉保健部医療政策課 長田 智貴

一般演題1 10:50～11:20

[肺がん検診1]

座長：佐川 元保(金沢医科大学)

OR1-1 低線量肺がん CT 検診は肺がん死亡を減少させ得るか — 東京から肺がんをなくす会(ALCA)のデータ解析から —

岐阜環境医学研究所 松井 英介

OR1-2 東京から肺癌をなくす会(ALCA)のCT検診とXP検診の有効性比較 — 数学モデルによる方法 —

放射線医学総合研究所 飯沼 武

OR1-3 所見検出能評価法に関する共同研究 — 第2報：CT肺がん検診認定技師試験採点法の確立を目指して —

健生クリニック 松本 徹

一般演題2 11:20～12:00

〔肺がん検診2〕

座長：大松 広伸（国立がんセンター東病院）

OR2-1 肺癌診断におけるトモシンセシスの臨床的有用性

国立がんセンター東病院 呼吸器科 伊藤 まさみ

OR2-2 日本対外国医師 CT 画像読影基準の比較に関する研究 ― 第1報：方法論の検討

健生クリニック 松本 徹

OR2-3 がん診療画像レファレンスデータベースの現状と利用法

国立がんセンター がん対策情報センター多施設臨床試験・診療支援部
画像診断コンサルテーション推進室 女屋 博昭

OR2-4 電子私書箱と CT 肺癌検診

放射線医学総合研究所 飯沼 武

一般演題3 13:10～14:00

〔肺がん以外の CT 検診〕

座長：草野 涼（日立健康管理センタ）

OR3-1 胸部低線量 CT 検診（縦隔条件）で発見された胸腺癌の2切除例

JA 長野厚生連 安曇総合病院 呼吸器外科 花岡 孝臣

OR3-2 放射線科医介入禁煙指導の経験

高知大学医学部附属病院 放射線科 中谷 貴美子

OR3-3 院内感染事例での潜在性結核感染治療（予防内服）前の CT スクリーニングの有用性

岡山県健康づくり財団附属病院 西井 研治

OR3-4 建設労働者に対する石綿胸部 CT 検診4年間の成績

東京勤医会東葛病院 呼吸器科 川村 光夫

OR3-5 教職員に対する胸部 CT 検診で認められた動脈の石灰化病変についての検討

公立学校共済組合東北中央病院 健康管理科 黒澤 聡子

一般演題4 14:00～14:30

〔肺がん CT 検診1〕

座長：花井 耕造（国立がんセンター東病院）

OR4-1 任意型検診において胸部 CT を選択する受診者の特徴

船員保険健康管理センター 高木 重人

OR4-2 可変電流方式による胸部低線量 MDCT 条件の構築及び被曝線量の検証

トヨタ自動車株式会社健康支援センターウエルポ 鈴木 健氏

OR4-3 長野県における人間ドックのオプションとして実施されている
胸部 CT 検診の実態調査

JA 長野厚生連 小諸厚生総合病院 臨床画像センター 丸山雄一郎

名誉会長 名誉会員	舘野 之男	（放射線医学総合研究所）
	青木 國雄	（愛知県がんセンター名誉総長）
	青木 正和	（結核予防会会長）
	飯沼 武	（放射線医学総合研究所）
	市川平三郎	（国立がんセンター中央病院名誉院長）
	梅垣洋一郎	
	尾前 照雄	（国立循環器病センター名誉総長）
	小塚 隆弘	（市立貝塚病院名誉総長）
	末舛 恵一	（国立がんセンター名誉総長）
	坪井 栄孝	（日本医療機能評価機構前理事長）
	戸嶋 裕徳	（元久留米大学医学部附属医療センター院長）
	豊島久真男	（理化学研究所研究顧問）
	増田 善昭	（前千葉大学医学部第三内科教授）

役 員

理 事 長	金子 昌弘	（国立がんセンター中央病院）
副理事長	宮本 忠昭	（健生クリニック）
理 事	江口 研二	（帝京大学医学部内科学講座腫瘍内科）
	大松 広伸	（国立がんセンター東病院）
	柿沼龍太郎	（国立がんセンターがん予防・検診研究センター）
	滝口 裕一	（千葉大学医学部呼吸器内科）
	長尾 啓一	（千葉大学総合安全衛生管理機構）
	中川 徹	（日立製作所日立健康管理センタ）
	中山 富雄	（大阪府立成人病センター）
	西井 研治	（岡山県健康づくり財団附属病院）
	花井 耕造	（国立がんセンター東病院）
	松本 徹	（放射線医学総合研究所）
	丸山雄一郎	（小諸厚生総合病院）
	森山 紀之	（国立がんセンターがん予防・検診研究センター）
理事／事務局長	三澤 潤	（亀田総合病院附属幕張クリニック）
監 事	飯沼 武	（放射線医学総合研究所）
	和田 真一	（新潟大学医学部保健学科）

歴代会長

会 長 ※（ ）は当時の所属先		開 催 地	開 催 日
第1回	増田 善昭 (千葉大学医学部第三内科)	東京・第一製薬ビル	1994年2月19日
第2回	金子 昌弘 (国立がんセンター中央病院)	東京・エーザイ本社講堂	1995年2月18日
第3回	森山 紀之 (国立がんセンター中央病院)	東京・エーザイ本社講堂	1996年2月17日
第4回	宮本 忠昭 (放射線医学総合研究所)	東京・江東区文化センター	1997年2月14・15日
第5回	鈴木 隆一郎 (大阪府立成人病センター)	大阪・大阪府医師会館	1998年1月16・17日
第6回	松本 満臣 (東京都立保健科学大学)	東京・荒川区民会館	1999年2月19・20日
第7回	曾根 脩輔 (信州大学医学部放射線医学)	東京・品川区立総合区民会館	2000年1月14・15日
第8回	渡辺 滋 (千葉大学医学部第三内科)	東京・江戸川区総合区民ホール	2001年2月9・10日
第9回	栗田 雄三 (新潟県保健衛生センター)	新潟・ユニゾンプラザ	2002年2月8・9日
第10回	松本 徹 (放射線医学総合研究所)	東京・江戸川区総合区民ホール	2003年2月14・15日
第11回	柿沼 龍太郎 (国立がんセンター東病院)	千葉・さわやかちば県民プラザ	2004年2月13・14日
第12回	守谷 欣明 (岡山県健康づくり財団)	岡山・岡山衛生会館	2005年2月11・12日
第13回	長尾 啓一 (千葉大学総合安全衛生管理機構)	千葉・ぱ・る・るプラザ千葉	2006年2月10・11日
第14回	楠 洋子 (近畿中央胸部疾患センター)	大阪・大阪国際会議場	2007年2月16・17日
第15回	中川 徹 (日立健康管理センタ)	東京・亀戸文化センター	2008年2月15・16日
第16回	江口 研二 (帝京大学医学部内科学講座)	神奈川・パシフィコ横浜	2009年2月13・14日
第17回	芦澤 和人 (長崎大学病院がん診療センター)	長崎・長崎ブリックホール	2010年2月12・13日

賛 助 会 員

東芝メディカルシステムズ株式会社

〒324-8550 栃木県大田原市下石上1385

TEL：03-3818-2090 FAX：03-3813-7625

株式会社日立メディコ

〒101-0021 東京都千代田区外神田4-14-1 秋葉原 UDX ビル18F

TEL：03-3526-8305 FAX：03-3526-8300

GE ヘルスケア・ジャパン株式会社

〒191-8503 東京都日野市旭が丘4-7-127

TEL：042-585-5111 FAX：042-585-5725

協 賛

大正富山医薬品株式会社 東京第1支店

〒170-8635 東京都豊島区高田3-25-1

TEL：03-3985-1133 FAX：03-3985-8140

株式会社 宣美

〒104-0054 東京都中央区勝どき2-18-1

TEL：03-3532-7881 FAX：03-3532-7888

新興マタイ株式会社

〒385-0051 長野県佐久市中込1-10-1

TEL：0267-62-1111 FAX：0267-62-1834

INDEX

特別講演・ランチョンセミナー

特別 LS 石綿ばく露による肺がん、中皮腫の診断 — 石綿健康被害救済法について —

岡山労災病院 岸本 卓巳 1

教育講演

教育 CT 検診でみつけれられる肺癌 — 進行の早い肺癌から緩徐な肺癌まで —

国立がんセンター中央病院 放射線診断部 楠本 昌彦 2

シンポジウム 1 [長崎における肺がん検診の現状]

SY1-1 胸部 X 線写真での肺がん検診の評価

佐世保市立総合病院 呼吸器科 早田 宏 3

SY1-2 当院における肺癌 CT 検診の現状と問題点

健康保険 諫早総合病院 放射線科 福島 文 4

SY1-3 当院における胸部 CT 検診導入 8 年間の検討

長崎市立市民病院 放射線科 南 和徳 5

SY1-4 当院における肺がん CT 検診 — 8 年間の成績結果・問題点等について —

日本赤十字社 長崎原爆諫早病院 放射線科 吉田伸太郎 6

SY1-5 がん対策の中の肺がん検診 ～行政の立場から～

長崎県福祉保健部医療政策課 長田 智貴 7

シンポジウム 2 [CT 検診における COPD の認識と評価]

SY2-1 ガイドラインに基づいた COPD 診療

長崎大学病院 第二内科 松瀬 厚人 8

SY2-2 CT 検診における COPD の認識と評価 ～ COPD 質問票 (IPAG) の評価および肺年齢について～

久留米大学医学部内科学講座 呼吸器・神経・膠原病内科部門 戸田 玲子 9

SY2-3 CT 肺気腫と COPD の違い

日本赤十字社 長崎原爆諫早病院 福島喜代康 10

SY2-4 HRCT 画像による COPD のフェノタイプと臨床的特徴

信州大学医学部保健学科 検査技術科学専攻 生体情報検査学講座 藤本 圭作 11

シンポジウム3 [CT 検診で発見された肺結節のマネジメント]

- SY3-1** CT 検診で発見された肺結節のマネジメント
— 日本 CT 検診学会の肺結節のガイドラインについて —
国立がんセンター がん予防・検診研究センター 柿沼龍太郎 12
- SY3-2** JA 長野厚生連における肺がん CT 検診で検出された肺結節の性状と判定の経時変化
JA 長野厚生連 小諸厚生総合病院 放射線科 丸山雄一郎 13
- SY3-3** マルチスライス CT 肺癌検診で発見された結節への対応の現状
石川県立中央病院 放射線診断科 小林 健 14
- SY3-4** どうすれば肺がんを早期に発見できるのか？
胸部 CT 検診、FDG-PET/CT 検診の運用について
日本赤十字社 熊本健康管理センター 中島 留美 15

特別報告

- 報告 1** 肺癌 CT 検診における世界の現状と日本の方向性
— 日本の肺癌 CT 検診に世界は何を期待しているのか —
帝京大学病院 腫瘍内科 関 順彦 16
- 報告 2** 日本人間ドック学会会員施設における胸部 CT 検診に関する実態調査報告
— 平成 20 年 11 月実施 —
(財) 柏戸記念財団 ポートスクエア柏戸クリニック 瀧澤 弘隆 17

一般演題 1 [肺がん検診 1]

- OR1-1** 低線量肺がん CT 検診は肺がん死亡を減少させ得るか
— 東京から肺がんをなくす会 (ALCA) のデータ解析から —
岐阜環境医学研究所 松井 英介 18
- OR1-2** 東京から肺癌をなくす会 (ALCA) の CT 検診と XP 検診の有効性比較
— 数学モデルによる方法 —
放射線医学総合研究所 飯沼 武 19
- OR1-3** 所見検出能評価法に関する共同研究
— 第 2 報 : CT 肺がん検診認定技師試験採点法の確立を目指して
健生クリニック 松本 徹 20

一般演題 2 [肺がん検診 2]

- OR2-1** 肺癌診断におけるトモシンセシスの臨床的有用性
国立がんセンター東病院 呼吸器科 伊藤まさみ 21
- OR2-2** 日本対外国医師 CT 画像読影基準の比較に関する研究 — 第 1 報 : 方法論の検討
健生クリニック 松本 徹 22

「肺がんCT検診認定医師講習会」について

第17回日本CT検診学会学術集会2日目(2月13日)の午後15:00～16:30に、肺がんCT検診認定機構との共催で、肺がんCT検診認定医師講習会を開催します。

受講証の取得を希望される方は、2日目の学術集会閉会挨拶後、一旦会場から出て頂き、講習会参加費1,000円(学会参加費には含まれておりません)をお支払いください。講習テキストを配布し、講習会終了後に受講証をお渡しします。受講証の取得の必要性に関しては、後述する***肺がんCT検診認定医師の要件**を参考にしてください。受講証を取得されない方も聴講は可能(無料)ですので、積極的にご参加ください。事前登録は行いません。

講習内容

- | | | |
|-----------------------|-------------|-------|
| 1. 肺がんCT検診での装置管理と被曝管理 | 国立がんセンター東病院 | 花井 耕造 |
| 2. 肺がんCT検診発見肺がんの診断と治療 | 国立がんセンター東病院 | 大松 広伸 |
| 3. 肺がんCT検診での精度管理 | 大阪府立成人病センター | 中山 富雄 |

*肺がんCT検診認定医師の要件

1. 認定を希望する医師は、本人の所属学会が開催する講習会を受講しなければならない。
2. 日本CT検診学会では、申請時に7年以上学会に継続して所属していることが要件となる。講習会の受講証の申請までの有効期間は5年であり、受講時に2年以上学会に所属していれば、その後学会に継続的に所属し、計7年以上継続して所属した時点で申請が可能となる。

石綿ばく露による肺がん、中皮腫の診断 — 石綿健康被害救済法について —

○岸本 卓巳

岡山労災病院

アスベストばく露によって肺がん及び中皮腫が発症することが知られている。日本では職業性石綿ばく露に起因する労災補償の他、石綿ばく露歴が明らかでない症例に対しても石綿健康被害救済する制度がある。しかし、その認定基準の詳細について、未だ熟知していない医師も少なくない。

そこで、石綿肺がん及び中皮腫診断における注意点と救済認定基準について解説する。

1) 石綿肺がんの救済に必要な条件は、以下の2点である。

① 原発性肺がんが確定し、胸部画像上胸膜プラーク及び肺の線維化所見を認める。

② 肺内石綿小体数が肺乾燥重量1gあたり5,000本以上ある。5 μ m以上の石綿繊維であれば200万本以上(1 μ m以上の石綿繊維なら500万本以上)ある。肺組織を得ることができない場合には、気管支肺胞洗浄液1mlあたり石綿小体数が5本以上である。

石綿肺がん診断上、画像上の胸膜プラークの存在は過去の石綿ばく露を証明する所見であり、そのほかに肺の線維化所見を詳細(HRCT 腹臥位撮影を含む)に検討する必要

がある。

この基準に合致し、実際に救済認定された健診発見症例について紹介する。

2) 中皮腫(胸膜、腹膜、心膜、精巣鞘膜原発)

確定診断の方法は以下のごとくである。

胸膜中皮腫の環状性胸膜肥厚像など、あるいは腹膜中皮腫の腹膜播種や腹部腫瘤像などの画像上の特徴的な画像所見に加えて病理組織学的、あるいは細胞学的に中皮腫であることを証明する必要がある。確定診断のためには免疫組織学的な手法により、他疾患との鑑別を行うことが求められる。

鑑別診断として、胸膜中皮腫の場合には肺がん、胸膜腫瘍、線維性胸膜炎があり、腹膜中皮腫の場合には、卵巣がん等がある。

確定診断は容易ではなく、約20%の誤診があるとも報告されている。また、有効な治療法は早期病変を診断し、胸膜肺全摘出術とともに化学療法と放射線治療を併用するmultimodalityのみが有効である。早期診断のポイントとしては胸膜肥厚像を呈する前胸水貯留所見が重要である。

胸膜肥厚像を呈する前に早期診断した症例とともに鑑別すべき疾患について解説する。

CT 検診でみつけれられる肺癌 — 進行の早い肺癌から緩徐な肺癌まで —

○楠本 昌彦

国立がんセンター中央病院 放射線診断部

胸部 CT 検診の重要な使命のひとつが、より早い段階で肺癌などの悪性腫瘍の候補となる病変をみつけて、診断を確定させ患者を適切な治療に導くことです。初期の末梢性肺癌は、CT では小さい結節影あるいはすりガラス影を含んだ結節影としてみられます。しかし CT で小さい肺結節として描出される病変は数多くあり、頻度としては良性病変が圧倒的に多いのも事実で、このことがより適切な診断を困難にさせます。肺癌候補病変としての CT での小結節病変の拾い上げは比較的容易ですが、それを画像上で肺癌の可能性が高いと診断して、診療を進めていくのは必ずしも容易ではありません。

本講演では、このような CT で見つけることのできる結節や小病変を、高分解能 CT で、

- ① 結節全体がすりガラス状陰影を示す場合
- ② 辺縁部がすりガラス様陰影を示し一部に充実部分がみられる場合
- ③ 充実性結節ですりガラス様陰影を有しない場合

に分けてアプローチしていきます。肺癌は経時的にこれらの3パターン間で移行すると思われる症例は数少なく、概ね同じ形状を保ちながら進行すると考えられています。即ち CT での形状の違いは肺癌の進行の時期の違

いではなく、肺癌自体のもつ多様性によるものと考えており、各々の場合の代表的な画像所見例や比較的誤りやすい所見について症例提示を中心に例解します。特に各種肺癌の CT 像の経時的变化も示しながら例解し、進行の早い肺癌から極めて進行の遅い肺癌についてその特徴像を例解し、経過観察上の注意点についても触れます。

しかし実際は肺癌の進行の早さの予測は時に難しい局面があり、これを誤ると思わぬ事態が生じ得ます。具体的には診断確定が得られずに経過を見ていて思いのほか早く進行したり、反対に緩徐な進行だと推定しながら手術を進め、重篤な合併症に陥ったりすることです。このような事例をも提示し、改めて肺癌の取り扱いの難しさについて一緒に考えたいと思います。

また CT で小結節の拾い上げは比較的容易とは言え、実際には見落としやすい病変も存在します。CT でも見落としやすい肺の小病変は、

- ① 縦隔に接する病変、特に縦隔構造の陥凹部にできた病変
- ② 肺門部に接する病変
- ③ 肺血管の断面像と同じ程度の大きさの結節などがあり実例を提示し解説します。

専門部会

— 部会長と連絡先 —

部 会 名	部会長と連絡先
肺癌診断基準部会	柿沼龍太郎 国立がんセンター がん予防・検診研究センター 〒 104-0045 東京都中央区築地 5-1-1 Tel:03-3542-2511 Fax:03-3547-5304 e-mail:rkaki@ncc.go.jp
技術部会	花井 耕造 国立がんセンター東病院 〒 277-0882 千葉県柏市柏の葉 6-5-1 Tel:04-7134-6925 Fax:04-7134-6925 e-mail:khanai@east.ncc.go.jp
精度管理部会	中山 富雄 大阪府立成人病センター 〒 537-8511 大阪市東成区中道 1-3-3 Tel:06-6972-7561 Fax:06-6972-7581 e-mail:nakayama-to@mc.pref.osaka.jp
肺気腫部会	名和 健 日立総合病院 〒 317-0077 茨城県日立市城南町 2-1-1 Tel:0294-23-1111 Fax:0294-35-7100 e-mail:takeshi.nawa.nw@hitachi.com
循環器部会	伊谷 寧崇 伊谷医院 〒 133-0073 東京都江戸川区鹿骨 5-11-1 Tel:03-3679-3999 Fax:03-3679-5745 e-mail:itani-y@mtg.biglobe.ne.jp

委 員 会

— 委員長と連絡先 —

委 員 会	委員長と連絡先
学術企画委員長	大松 広伸 国立がんセンター東病院 〒 227-0882 千葉県柏市柏の葉 6-5-1 Tel：04-7133-1111（代） Fax：04-7131-4724
広報委員長	中川 徹 (株)日立製作所 日立健康管理センタ 〒 317-0076 茨城県日立市会瀬町 4-3-16 Tel：0294-34-1020（代） Fax：0294-35-7100
財務委員長	滝口 裕一 千葉大学医学部附属病院 〒 260-8670 千葉市中央区玄鼻 1-8-1 Tel：043-222-7171 Fax：043-222-3830
認定制度委員長	長尾 啓一 千葉大学総合安全衛生管理機構 〒 263-8522 千葉市稲毛区弥生町 1-33 Tel：043-290-2210 Fax：043-290-2211
規則改定委員長	江口 研二 帝京大学医学部内科学講座腫瘍内科 〒 173-8605 東京都板橋区加賀 2-11-1 Tel：03-3964-1211（代） Fax：03-3579-5022
総務委員長・事務局長	三澤 潤 亀田総合病院附属幕張クリニック 〒 261-8501 千葉市美浜区中瀬 1-3 CD-2 Tel：043-296-2605 Fax：043-296-2745

編集後記

日本 CT 検診学会誌第 17 巻 1 号をお届けしました。

2010 年医療を取り巻く環境はどのように変化するでしょうか？

よくもわるくも、なるようにしかならんというのもあまりにも他力すぎますか。

さて、岐阜大学医学部公衆衛生学教室の清水先生の“健康イメージの日米比較”という研究があります。まだ中間的な報告とのことですが、特筆すべき結果は、『日本人は日系人、白人に比べて病気を自分のせいにしたがらない。』『日本人は日系人、白人に比べ各種検診受診率が低い。』というものでした。

がん検診をさらに普及させるためには大変気にかかる報告です。

病気には病因があるということ、病因には防げるものと防げないものがあること、防げるものは自分で防ぐ、防げないものは早期発見・早期治療しましょうよとスマートにはいかないのでしょうね。

自力か他力か、それとも臨機応変か、日本人の智慧が試されているように思います。

平成 22 年 1 月 4 日

広報委員長 中川 徹

CT 検診

ISSN 1881-1965

VOL.17 No.1

2010 年 1 月 20 日発行

編集・発行人 日本CT検診学会

理事長 金子昌弘

編集委員長 中川 徹

〒105-0004 東京都港区新橋2丁目16番1号
ニュー新橋ビル339号

特定非営利活動法人 日本CT検診学会
新橋事務所

事務局長 三澤 潤

印刷 株式会社 コンベンションリンケージ

Tel 092-437-4181

会 員 名 簿

2009 年度

(2010 年 1 月 現在)

特定非営利活動法人 **日本CT検診学会**

会員番号	氏 名	施設名(勤務先)	会員番号	氏 名	施設名(勤務先)
0602001	相原 直人	三井整形外科クリニック	0000002	飯沼 武	放射線医学総合研究所
0801007	青沼 俊行	医療法人財団 石心会 アルファメディック クリニック	0708004	生田 浩司	松江市立病院
0603136	青山 キヨミ	みなと保健所	0604050	池田 一浩	(財)石川県予防医学協会
0702004	赤木 憲明	岡山大学病院	0609004	池田 貞雄	洛和会音和病院
0602002	赤田 壮市	東京医科大学病院	0603147	池田 徳彦	東京医科大学
0603026	秋貞 雅祥	都・測量地質健診センター	0906003	池田 史彦	公立学校共済組合関東中央病院
0607022	秋田 弘俊	北海道大学大学院医学研究科	0604069	石垣 陸太	京都医療科学大学
0602003	秋元 郁夫	(財)栃木県保健衛生事業団	0801012	石川 浩志	新潟大学病院
0602004	阿久津 敏恵	(財)栃木県保健衛生事業団	0604088	石川 雅也	森の里病院
0603163	浅野 文祐	岐阜県立岐阜病院	0703008	石川 優子	阿知須同仁病院
0602005	芦澤 和人	長崎大学病院	0603127	石川 清司	国立病院機構沖縄病院
0603010	東 正人	琉球大学医学部	0604029	石川 博一	筑波メディカルセンター病院
0603146	東 卓也	(財)東京都予防医学協会	0603122	石崎 泰江	池袋保健所 長崎健康相談所
0603036	東 延安	財団法人 福島保健衛生協会	0704003	石田 耕介	寿楽会 大野クリニック
0603102	麻生 暢哉	長崎記念病院	0612001	石塚 尋朗	医療法人 慶信會 石塚醫院
0602006	足立 秀治	兵庫県立成人病センター	0708006	石原 聖久	豊島健康検査センター
0801004	安達 隆元	医療法人聖授会総合健診センター	0602010	石原 照夫	NTT 東日本関東病院
0911005	足立 眞理	医療法人社団さわやか済世 葛飾健診センター	0905001	磯部 威	島根大学医学部附属病院
0902008	足立 吉隆	出雲市立総合医療センター	0603089	磯部 宏	KKR 札幌医療センター
0601084	新 謙一	草加市立病院	0603182	磯村 高之	磯村クリニック
0603015	渥美 久	渥美医院	0905011	板倉 光敬	千葉県 こども病院
0606011	阿部 雅浩	財団法人 福島保健衛生協会	0602011	伊谷 寧崇	伊谷医院
0607010	阿部 二郎	東北大学医学部附属病院	0602012	市川 澄夫	長野県立須坂病院
0605018	阿部 春郎	(財)北海道対がん協会	0603148	一番合戦 清旨	市立芦屋病院
0901001	阿部 廣行	石丸安世記念熊谷ディアベスクリニック	0603039	一和多 俊男	東京医科大学八王子医療センター
0603105	阿部 良行	所沢 PET 画像診断クリニック	0602013	一方井 正宏	(財)岩手県予防医学協会
0603076	綾部 保	城東社会保険病院	0802019	伊東 利宗	済生会横浜市東部病院
0802007	荒井 秀夫	結核予防会 宮城県支部	0604028	伊藤 一夫	(財)兵庫県健康財団
0602007	荒井 他嘉司	国立病院東京災害医療センター	0603107	伊藤 茂樹	名古屋大学医学部
0602008	有川 卓	山形市立病院済生館	0603070	伊藤 竜也	(財)シルバーリハビリテーション協会
0603183	有澤 淳	大阪府立成人病センター	0610001	伊藤 春海	福井医科大学医学部
0603101	栗屋 ひとみ	山口大学医学部	0604078	稲垣 敬三	東名厚木病院東名メディカルサテライト

会員番号	氏 名	施設名(勤務先)	会員番号	氏 名	施設名(勤務先)
0603021	飯塚 敏一	全日本労働福祉協会群馬県支部	0906004	稲葉 年久	順天堂大学浦安病院
0909001	飯塚 康彦	医療法人社団和誠会 大脇病院	0603020	稲村 篤子	博愛会病院
0702002	井上 一彦	石川県立中央病院	0707002	大芦 研輔	医療法人湊仁会 湊仁会円山クリニック
0603006	井上 武敏	松本中川病院	0905002	大江 美紀	島根大学医学部附属病院
0604004	井上 修一	小豆沢病院	0604076	大江 元樹	茅ヶ崎徳州会総合病院
0602015	猪川 弘康	東芝メディカルシステムズ株式会社	0801015	大川 智久	(財)中国労働衛生協会 鳥取検診所
0805001	今井 賢治	西湘病院	0602022	大木 俊英	(財)群馬県健康づくり財団
0608009	岩井 一男	日本大学歯学部	0603014	大國 義弘	亀田総合病院
0612010	岩井 伸夫	淳風会健康管理センター	0603058	大久保 俊昭	(財)産業保健協会
0912008	岩瀬 克敏	聖隷健康診断センター	0705003	大澤 真	滋賀医科大学
0905004	上田 大輔	埼玉成恵会病院	0902015	大島 直	幕張マリブクリニック
0603157	上野 真一郎	社団法人八日会 藤元早鈴病院	0904005	大塚 博紀	(医)石心会 さやま総合クリニック 健診センター
0602016	上村 等	医療法人 小林病院	0603178	大槻 紀子	社会福祉法人白十字会白十字総合病院
0906013	上山 忠政	東京女子医大八千代医療センター	0604007	大坪 哲治	結核予防会 大阪支部
0604014	浮田 恒夫	浮田医院	0804001	大成 亮次	国家公務員共済組合連合会 吉島病院
0603175	牛尾 健	山本メディカルセンター	0901012	大野 智博	(財)愛媛県総合保健協会
0611007	氏原 健吾	健康保険諫早総合病院	0802012	大野 雅央	四谷メディカルキューブ検診センター
0903004	内田 伸恵	島根医科大学	0603106	大林 加代子	兵庫県立加古川病院
0807003	内田 裕美	ポートスクエア柏戸クリニック	0904007	大藤 貴	川崎医科大学附属病院
0912006	内野 明日香	聖隷健康診断センター	0801001	大町 繁美	日本赤十字社 長崎原爆諫早病院
0602017	内山 美寧	公立刈田総合病院	0602024	大松 広伸	国立がんセンター東病院
0603100	内山 寛子	JR 東日本健康推進センター	0605031	大森 一光	日本大学医学部
0603074	宇野 公一	西台クリニック	0605001	大森 久光	熊本大学大学院 医学薬学研究部
0605016	海野 均	宇都宮記念病院 総合検診センター	0902014	岡 三喜男	川崎医科大学
0604089	宇山 浩文	総合病院庄原赤十字病院	0604024	小笠原 弘子	倉敷中央病院
0603088	浦田 誓夫	医療法人如春会 浦田医院	0702006	岡田 幸久	医療法人 中京クリニカル
0605012	浦辺 千晶	(医)育生会高島病院	0603012	尾形 利郎	
0602018	潤間 隆宏	最成病院	0603092	岡田 長保	内科岡田医院
0612012	江口 研二	帝京大学医学部	0603171	岡田 実	亀田総合病院幕張クリニック
0902016	枝国 信貴	久留米大学	0604037	岡田 裕一	横浜新緑総合病院
0602019	江原 和枝	社会保険船橋中央病院	0711006	岡村 将弥	NTT 東日本伊豆病院
0602020	江原 尚美	日本赤十字社 長崎原爆諫早病院	0605032	小川 敏彦	(財)日立メディカルセンター

東京チェストカンファレンスのご案内

1993年、代表世話人鈴木明先生と事務局長三澤潤の呼びかけで始まった東京チェストカンファレンスは、その後多くの先生方の積極的なご参加を得て、いまや都内で最も活発な画像診断中心の呼吸器研究会に成長しました。2008年より、新しい考えのもと進め方にも工夫をこらして再スタートいたしました。

開 催：年6回 奇数月を予定

会 場：当番世話人の施設を予定

参 加 費：500円

今後の予定：128回 2010年1月29日（金） 18:45～20:45

国立がんセンター中央病院 病棟4F 多地点カンファレンスルーム

129回 2010年3月15日（月） 18:45～20:45 東京医科大学病院 予定

世 話 人：池田 徳彦（東京医科大学外科学教室） 石井 晴之（杏林大学医学部第一内科学呼吸器内科）
奥仲 哲弥（国際医療福祉大学山王病院呼吸器センター） 奥村 栄（癌研有明病院呼吸器外科）
加藤 正一（日本健康開発財団東京八重洲総合健診センター） 金子 昌弘（国立がんセンター中央病院内視鏡部）
志多 由孝（国立国際医療センター放射線科） 杉浦 弘明（慶應義塾大学 放射線診断科）
高橋 和久（順天堂大学医学部呼吸器内科学） 田中 宏（新柴又駅前クリニック放射線科）
土田 敬明（国立がんセンター中央病院内視鏡部） 林 和（国際医療福祉大学三田病院呼吸器センター）
松迫 正樹（聖路加国際病院放射線科） 丸茂 一茂（東京警察病院呼吸器内科）
森田 敬知（国立病院機構災害医療センター呼吸器外科）

事務局長：三澤 潤（日本CT検診学会・亀田総合病院附属幕張クリニック）

共 催：大正富山医薬品株式会社

【参加施設】

青木内科医院、浮田医院、内幸町診療所、大宮総合病院、お茶の水駿河台クリニック、
京都府立医科大学、神奈川県立循環器・呼吸器病センター、河北総合病院、癌研有明病院、
岐阜環境医学研究所、杏雲堂病院、結核予防会第一健康相談所、江東病院、国立がんセンター中央病院、
国立国際医療センター、国際医療福祉大学山王病院、国際医療福祉大学三田病院、小諸厚生総合病院、
済生会中央病院、佐々木内科クリニック、順天堂大学附属病院、新柴又駅前クリニック、
聖マリアンナ医科大学附属横浜市西部病院、聖路加国際病院、船員保険健康管理センター、
セントラルクリニック、中央内科クリニック、東京警察病院、東京女子医科大学附属成人病センター、
東京都職員青山病院、日本医科大学武蔵小杉病院、武蔵小金井クリニック、横浜旭中央病院、
六本木ヒルズクリニック

問合せ先：事務局 特定非営利活動法人 日本CT検診学会新橋事務所

〒105-0004 東京都港区新橋2-16-1 ニュー新橋ビル339号室

TEL/FAX：03-3539-4305 E-mail：office@jscts.org

URL：http://www.jscts.org/

*新しく参加をご希望される先生は事務局までご連絡ください。